

平成30（2018）年度

東京大学大学院農学生命科学研究科  
博士後期課程学生募集要項

東京大学

**平成30（2018）年度**  
**東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程**  
**学生募集要項（一般選抜・社会人特別選抜）**

**教育研究上の目的**

本研究科は、農学の基盤を形成する諸科学に関する世界水準の教育、研究を進め、人類が抱える食料や環境をめぐる多様な課題に取り組む専門性豊かな人材を養成することを目的とする。

**求める学生像**

- ・農学生命科学が抱える食料や環境をめぐる多様で高度な課題に取り組む意思と能力を有する人
- ・世界に通用する第一級の専門知識の習得、研究能力の向上及び世界に対して研究成果を発信することに熱意をもって取り組む人

**1. 出願資格**

**【一般選抜】**

以下(1)～(9)のいずれかの要件を満たす者

- (1) 本学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30（2018）年3月31日までに得る見込みの者
- (2) 本学以外の日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30（2018）年3月31日までに得る見込みの者（注1）
- (3) 大学改革支援・学位授与機構により修士の学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者（注2）
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30（2018）年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 外国の学校、上記出願資格(5)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び平成30（2018）年3月31日までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者（注3）
- (8) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び平成30（2018）年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認められた者（注1）（注2）（注3）
- (9) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認められた者で、平成30（2018）年3月31日において24歳に達している者（注4）

（注1）上記(2)、(8)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

（注2）上記(4)、(8)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を

修了した場合を含む。

(注3) 出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は、前期募集は平成29(2017)年5月23日(火)までに、後期募集は平成29(2017)年10月13日(金)までに本研究科事務部(7(1)イ)に問い合わせること。

(注4) ①出願資格(9)に該当する者とは、出願資格の(1)から(8)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(9)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、前期募集は平成29(2017)年5月23日(火)までに、後期募集は平成29(2017)年10月13日(金)までに本研究科事務部(7(1)イ)に申し出て、その指示に従うこと。

③入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

### 【社会人特別選抜】

以下(1)～(9)のいずれかの要件を満たし、かつ出願時において、官公庁、学校、会社等に在職中であり、入学時以降においても在職の見込みである者

- (1) 本学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30(2018)年3月31日までに得る見込みの者
- (2) 本学以外の日本の大学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30(2018)年3月31日までに得る見込みの者(注1)
- (3) 大学改革支援・学位授与機構により修士の学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者
- (4) 外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者(注2)
- (5) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者
- (6) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30(2018)年3月31日までに授与される見込みの者
- (7) 外国の学校、上記出願資格(5)の指定を受けた教育施設又は国際連合大学において、大学院設置基準第16条の2に規定する博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格した者及び平成30(2018)年3月31日までに合格見込みの者で、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注3)
- (8) 日本の大学を卒業又は外国において学校教育における16年の課程を修了した者で、日本又は外国の大学若しくは研究所等において2年以上研究に従事した者及び平成30(2018)年3月31日までに2年以上研究に従事する見込みの者で、当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者(注1)(注2)(注3)
- (9) 個別の入学資格審査をもって、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科が認めた者で、平成30(2018)年3月31日において24歳に達している者(注4)

(注1) 上記(2)、(8)の「日本の大学」とは、学校教育法第83条の定める日本国内の大学を示す。

(注2) 上記(4)、(8)には、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了した場合を含む。

(注3) 出願資格(7)又は(8)により出願しようとする者は、前期募集は平成29(2017)年5月23日(火)までに、後期募集は平成29(2017)年10月13日(金)までに本研究科事務部(7(1)イ)に問い合わせること。

(注4) ①出願資格(9)に該当する者とは、出願資格の(1)から(8)に該当しない者のうち、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者である。

②出願資格(9)で出願しようとする者は、出願前に個別の入学資格審査を行うので、前期募集は平成29(2017)年5月23日(火)までに、後期募集は平成29(2017)年10月13日(金)までに本研究科事務部(7(1)イ)に申し出て、その指示に従うこと。

③入学資格審査で修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者について出願を受け付け、受験を許可する。

## 2. 選抜方法

学生募集は、前期及び後期の2回行い、選抜は第1次試験及び第2次試験による。

第1次試験は、筆記試験、面接(前期募集のみ。応用生命化学および応用生命工学専攻においては、面接は行わない。)及び提出書類による。

第2次試験は、口述試験及び修士の学位論文又はこれに代わるものについて行う。

前期募集の第2次試験は、第1次試験の合格者について行う。

後期募集の第2次試験は、第1次試験の受験者について行う。

### (1) 【一般選抜】

ア. 入学者の選抜は、筆記試験(外国語・専門科目)、面接(前期募集のみ。応用生命化学および応用生命工学専攻においては、面接は行わない。)、口述試験、出身学校の学業成績及び修士の学位論文又はこれに代わるものの審査及び各専攻の定める提出書類等による。

ただし、本学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30(2018)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者については、筆記試験を省略することがある。

口述試験は、志望する専攻分野について行う。なお、論文審査の結果によっては、口述試験を行わないことがある。筆記試験の有無については、受験票発送時に通知する。

イ. 本研究科において修士の学位を得る見込みの者以外の出願者は、選抜の有無等について、あらかじめ各専攻に問い合わせること。

### 【社会人特別選抜】

ア. 入学者の選抜は、筆記試験(外国語・専門科目)、面接(前期募集のみ。応用生命化学および応用生命工学専攻においては、面接は行わない。)、口述試験、出身学校の学業成績、事前に提出する研究計画及び各専攻の定める提出書類等による。

ただし、本学において修士の学位又は専門職学位を得た者及び平成30(2018)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込みの者は、筆記試験を省略することがある。筆記試験の有無については、受験票発送時に通知する。

イ. 出願者は、選抜の有無について、あらかじめ各専攻に問い合わせること。

(2) 外国人で、外国人出願者のための特別選抜を希望する者は、本研究科事務部(7(1)イ)に問い合わせること。

### 3. 専攻別試験科目及び募集人員

専攻名	筆記試験科目		募集人員	
	外国語(注)	専門科目	前期募集	後期募集
生産・環境生物学	英語 (TOEFL -ITP)	生産・環境生物学に関する小論文	10名	3名
応用生命化学	英語 (TOEFL -ITP)	分析化学、生物化学、有機化学・天然物化学、微生物学、分子生物学、環境土壌学、植物栄養学・植物生理学、食品科学のうち2科目選択	11名	5名
応用生命工学	英語 (TOEFL -ITP)	分析化学、生物化学、有機化学・天然物化学、微生物学、分子生物学、環境土壌学、植物栄養学・植物生理学、食品科学のうち2科目選択 ただし、生物情報工学を志望する者は、生命情報科学の1科目のみの選択とする。	14名	6名
森林科学	英語 (TOEFL -ITP)	森林経理学、造林学、森林政策学、森林水文学・砂防工学、森林利用学、森林植物学、森林動物学、森林風景計画学のうち2科目選択	0名	10名
水圏生物科学	英語 (TOEFL -ITP)	水圏生物科学に関する小論文	0名	15名
農業・資源経済学	英語 (TOEFL -ITP)	農業経営学、経済学、農業経済学、農政学、農業史、農村開発学、開発経済学のうち3科目選択	0名	8名
生物・環境工学	英語 (TOEFL -ITP)	農地環境工学、水利環境工学、環境地水学、生物環境工学、生物機械工学、生物プロセス工学、生物環境情報工学、生態調和工学、エコロジカル・セイフティー学、放射線環境工学のうち1科目選択	3名 (注)	5名
生物材料科学	英語 (TOEFL -ITP)	木材物理学、木質材料学、森林化学、木材化学、高分子材料学、製紙科学、生物素材科学、環境材料設計学のうち1科目選択	0名	8名
農学国際	英語 (TOEFL -ITP)	国際水産開発学、国際動物資源科学、国際植物資源科学、国際植物材料科学、国際森林環境学、新機能植物開発学、国際農業開発学、国際環境経済学、国際情報農学のうち志望専門分野に関する1科目を選択	5名	14名
生圏システム学	英語 (TOEFL -ITP)	生物多様性科学、保全生態学、緑地創成学、森圏管理学、水域保全学、耕地生圏生態学、水圏生物システム学、森林生態経営学、緑地生物学のうち志望専門分野に関する1科目を選択	0名	18名
応用動物科学	英語 (TOEFL -ITP)	応用動物科学	0名	8名

注)・TOEFL-ITPとは団体向けTOEFLプログラム。本研究科入学試験場でTOEFL-ITP (LEVEL 1) の試験を行う。TOEFL-ITPは、Listening Comprehension、Structure and Written Expression及びReading Comprehensionから成る。

- ・生物・環境工学専攻志望者のうち、本研究科在籍（修了）者は後期募集に出願すること。
- ・添付の「各専攻のお問い合わせ先」に記載されている各専攻ウェブサイトの情報も併せて参照すること。

- (1) 募集人員のうち若干名を社会人特別選抜により選抜する。
- (2) 試験の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合もある。
- (3) 前期・後期とも募集する専攻においては、同一専攻に限り、両方を受験することを認める。
- (4) 前期募集において、第1次試験合格者が募集人員に満たない場合は、前期募集の残りの募集人員を後期募集の募集人員に含める。

#### 4. 試験期日及び場所

前期 募集	第1次試験：平成29（2017）年8月17日（木）（筆記試験） （面接）平成29（2017）年8月18日（金）～8月28日（月）
	第2次試験：平成30（2018）年2月13日（火）～2月16日（金）
後期 募集	第1次試験：平成30（2018）年2月8日（木）（筆記試験）
	第2次試験：平成30（2018）年2月13日（火）～2月16日（金）

- (1) 時間割及び試験場については、受験票の送付と併せて本人宛通知する。
- (2) 前期募集の第1次試験合格者には、後日（平成30（2018）年1月予定）、第2次試験の試験場等を通知する。

#### 5. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 前期募集の第1次試験合格者には、平成29（2017）年9月5日（火）以降、郵送により通知する。
- (2) 合格者の発表は、平成30（2018）年3月1日（木）午前10時東京大学農学部3号館学生サービスセンター内掲示板及び研究科ホームページ（<http://www.a.u-tokyo.ac.jp/>）で行う。電話による問い合わせには応じない。
- (3) 入学許可通知は平成30（2018）年3月上旬本人宛に送付する。入学許可の通知を受けた者は、平成30（2018）年3月8日（木）から12日（月）〔土、日を除く〕の期間内に入学手続（入学手続書類の提出及び入学料の納付）を行うこと。期間内に入学手続を行わない場合には、入学しないものとして取り扱うので注意すること。
- (4) 入学時に必要な経費（平成30（2018）年度予定額）

（日本政府（文部科学省）奨学金留学生に対しては徴収しない。）

①入学料 282,000円（予定額）

②授業料 前期分 260,400円（年額520,800円）（予定額）

上記納付金額は、予定額であり、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用される。

## 6. 出願期間

前期募集	平成29 (2017) 年 7 月 3 日 (月) から 7 日 (金) ただし、平成29 (2017) 年 7 月 7 日 (金) までの消印があり、かつ 7 月 11 日 (火) までに到着したものまでを受け付ける。
後期募集	平成29 (2017) 年 12 月 1 日 (金) から 6 日 (水) ただし、平成29 (2017) 年 12 月 6 日 (水) までの消印があり、かつ 12 月 8 日 (金) までに到着したものまでを受け付ける。

## 7. 出願手続

### (1) 願書受付

ア. (2)の「提出書類等」を一括して本研究科所定の封筒に入れ、書留郵便とすること。

イ. 出願場所 〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1  
東京大学大学院農学生命科学研究科事務部 (大学院学生担当)  
電話 03-5841-5010

### (2) 提出書類等

#### 【一般選抜】

ア. 入学願書 本研究科所定のものを用いること。

イ. 成績証明書 学部(教養課程(編入学した者は、編入前の成績証明書)を含む。)及び修士課程(博士課程の前期課程)又は専門職学位課程の成績を証明するもの。

※ただし、出願資格(7)、(8)又は(9)による出願者は、これに代えて次の書類を提出すること。

- ・研究計画書(入学後の研究計画をA4判3,000~4,000字程度にまとめたもの。)
- ・成績証明書(学部(教養課程(編入学した者は、編入前の成績証明書)を含む。)の成績を証明するもの。)

なお、これ以外に、参考資料として本人の論文・報告書等の別刷、その他を提出してもよい。

ウ. 写真2葉 3カ月以内撮影の正面上半身脱帽のものを入学願書及び受験票の所定欄に貼ること。

エ. 返信用封筒(長3)1通 出願者本人の宛名を記入し、372円分の切手を貼ること。

オ. 検定料 30,000円

銀行振込もしくはコンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込に限る。

いずれの場合においても、振込手数料又は払込手数料は出願者本人の負担となるので留意すること。

なお、下記の者については、検定料は不要である。

- ①出願資格(1)による出願者のうち、平成30(2018)年3月31日までに修士の学位又は専門職学位を得る見込の者で引き続き、進学する者
- ②外国人出願者のうち、日本政府(文部科学省)奨学金留学生(本学に在学中(研究生を含む。))の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である旨の証明書を提出すること。

#### 【銀行振込の場合】

所定の振込依頼書に必要事項を記入のうえ、最寄りの金融機関(ゆうちょ銀行・郵便局不可)から振り込むこと(ATM、インターネット等での振り込みは行わないこと)。振込の際、振込金受取

書（B票）及び振込金受付証明書（C票）を受け取り、振込金受付証明書（C票）を所定用紙に貼り付けて提出すること。振込金受取書（B票）は領収書なので大切に保管すること。

\*ゆうちょ銀行・郵便局、ATM、インターネット等での振り込みでは、「振込金受付証明書」（C票）が発行されないので利用しないこと。

#### 【コンビニエンスストア又はクレジットカードでの払込の場合】

コンビニエンスストアは、セブン-イレブン、サークルK、サンクス、ローソン、ファミリーマート、ミニストップに限る。

実際の払込に関する操作手順や注意事項については、別紙「東京大学大学院農学生命科学研究科コンビニエンスストア・クレジットカードでの検定料払込方法」を参照のうえ払い込むこと。出願に必要な収納証明書等は大切に扱うこと。

カ. 志望指導教員の**確認書**（応用生命化学および応用生命工学専攻出願者のみ（同専攻において平成30（2018）年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者を除く））

1部 本研究科所定の様式を用いること。

キ. **推薦状1通以上（厳封）**

- ・応用生命化学および応用生命工学専攻出願者のうち平成30（2018）年3月31日までに同専攻において修士の学位を得る見込みの者は提出必須（所定様式）。
- ・応用動物科学専攻出願者は提出必須（様式自由）。
- ・生産・環境生物学専攻出願者については任意提出可（本人の研究をよく理解している1～3名の研究者からの推薦状を提出することができる。）。
- ・上記以外の各専攻出願者は不要。

ク. **研究計画書**（生物材料科学専攻出願者のうち、本研究科修士課程生物材料科学専攻木造建築コースにおいて修士の学位を得る見込みの者及び修士の学位を得た者のみ）

入学後の研究計画をA4判3,000～4,000字程度にまとめたもの。

ケ. **修士学位論文又はこれに代わるもの1部およびその要旨（2,000字以内）5部**

（前期募集の第1次試験合格者及び後期募集の出願者のみ）

平成30（2018）年1月17日（水）から1月23日（火）の間に提出すること。郵送の場合は書留とし、1月23日（火）までに必着とする。

#### 【社会人特別選抜】

- 上記「ケ。」を除いたもの
- 従事してきた研究の概要（4,000字程度）
- 卒業証明書（学部）及び修了証明書（修士課程または専門職学位課程）
- 研究計画書 入学後の研究計画をA4判3,000～4,000字程度にまとめたもの。
- 本人の論文・報告書及び要旨等（農業・資源経済学専攻社会人特別選抜出願者は提出必須（提出部数等詳細は補足説明2(5)を参照すること）。これ以外の各専攻出願者は提出任意。）

※農業・資源経済学専攻出願者は、一般選抜または社会人特別選抜のいずれに出願する場合も、補足説明2(5)「農業・資源経済学専攻出願者への注意」を必ず確認のうえ、指示に基づいて出願すること。

(3) 外国人は、このほかに次の書類を提出すること。

出身大学の指導教員又はこれに準ずる者による日本語の学力を表す証明書

ただし、日本の大学を卒業した者についてはこれを免ずる。



(4) 本研究科において平成30(2018)年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者（在学中の専攻と異なる専攻に出願する者を除く）の提出書類は、入学願書、写真、返信用封筒のみとする。ただし、以下の場合には別途必要な書類があるので、(2) 提出書類等の指示に従い提出すること。

- ・ 応用生命化学、応用生命工学および応用動物科学専攻出願者のうち同専攻において修士の学位を得る見込みの者 推薦状（【一般選抜】提出書類のキ、参照）
- ・ 一般選抜の生物材料科学専攻出願者のうち本研究科修士課程生物材料科学専攻木造建築コースにおいて修士の学位を得る見込みの者 研究計画書（【一般選抜】提出書類のク、参照）
- ・ 社会人特別選抜出願者 研究計画書（【社会人特別選抜】提出書類のd、参照）

## 8. 注意事項

- (1) 学生募集は、前期及び後期の2回行い、選抜は第1次試験及び第2次試験による。
- (2) 同一年度に同一専攻の一般選抜と社会人特別選抜の両方に出願することはできない。
- (3) 同一年度に本研究科内の2つ以上の専攻に出願することはできない。
- (4) 出願は、7(2)の「提出書類等」を一括して本研究科所定の封筒に入れ、書留郵便とすること。
- (5) 提出期日までに所要の書類が完備しない願書は受理しない。また、出願手続後は書類の変更は認めず、また、検定料の払いもどしはしない。
- (6) 受験票及び受験者心得は、前期募集については平成29(2017)年8月初旬に、後期募集については平成30(2018)年1月上旬に郵送する。前期募集については平成29(2017)年8月8日(火)までに、後期募集については平成30(2018)年1月15日(月)までに到着しない場合は、直ちに本研究科事務部(7(1)イ)に連絡し、受験に必要な指示を受けること。
- (7) 提出すべき学位論文及びその要旨は、「写」でさしつかえない。ただし、提出した学位論文及びその要旨は返還しない。
- (8) 官公庁、学校、会社等に在職のまま入学を希望する者は、在学期間中学業に専念させる旨の勤務先の長(任命権者又はそれに準ずる者)の承諾書(様式任意)を入学手続の際に提出すること。
- (9) 障害等のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は前期募集は平成29(2017)年5月23日(火)までに、後期募集は平成29(2017)年10月13日(金)までに本研究科事務部(7(1)イ)に申し出ること。
- (10) 外国人は、入学手続までに、「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」において大学院入学に支障のない在留資格を有すること。
- (11) 出願書類の交付は、前期募集に出願する場合は平成29(2017)年7月7日(金)午後2時まで、後期募集に出願する場合は平成29(2017)年12月6日(水)午後2時までとする。
- (12) 入学手続後は、どのような事情があっても、入学料の払いもどしはしない。
- (13) 出願に当たって知り得た氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うために利用する。また、同個人情報は、入学者のみ①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用する。
- (14) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の本学の入試及び教育の改善に向けた検討のために利用することがある。
- (15) 入学願書における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがある。

平成29(2017)年4月

平成30（2018）年度東京大学大学院農学生命科学研究科  
教員並びに専門分野一覧（博士後期課程用）

願書の志望専門分野、志望指導教員名はこの「教員並びに専門分野一覧」により記入すること。

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
生産・環境生物学	農学生命科学研究科	山岸順子	教授	作物生理学	受入れ予定なし
	"	未定	准教授	"	
	"	根本圭介	教授	作物生態学・作物形態形成学	
	"	未定	准教授	"・"	
	"	柴田道夫	教授	園芸学	
	"	未定	准教授	"	
	"	未定	教授	植物病理学	
	"	山次康幸	准教授	"	
	"	嶋田透	教授	昆虫遺伝学・昆虫病理学	
	"	勝間進	准教授	"・"	
	"	井澤毅	教授	育種学	
	"	伊藤純一	准教授	"	
	"	岸野洋久	教授	生物測定学・統計遺伝学	
	"	岩田洋佳	准教授	"・"	
	"	石川幸男	教授	応用昆虫学・昆虫生理生態学	
	"	松尾隆嗣	准教授	"・"	
	"	堤伸浩	教授	植物分子遺伝学	
	"	有村慎一	准教授	"	
"	河鱒実之	教授	生産生態学		
"	米川智司	准教授	"		
"	安永円理子	准教授	"		
"	高田まゆら	准教授	"		
"	山次康幸	准教授	植物医科学		
アジア生物資源環境研究センター	高野哲夫	教授	耐性機能開発学		
"	鴨下顕彦	准教授	地域資源評価学		
応用生命化学	農学生命科学研究科	篠崎和子	教授	植物分子生理学	受け入れ予定なし
	"	溝井順哉	講師	"	
	"	未定	教授	生物機能開発化学	
	"	三坂巧	准教授	"	
	"	高山誠司	教授	生物有機化学	
	"	作田庄平	准教授	"	
	"	渡邊秀典	教授	有機化学	
	"	未定	准教授	"	
	"	浅見忠男	教授	生物制御化学	
	"	中嶋正敏	准教授	"	
	"	藤原徹	教授	植物栄養・肥料学	
	"	神谷岳洋	准教授	"	
	"	妹尾啓史	教授	土壌圏科学	
	"	大塚重人	准教授	"	
	"	東原和成	教授	生物化学	
	"	館川宏之	准教授	"	
	"	未定	教授	分析化学	
	"	鈴木道生	講師	"	
"	高橋直樹	教授	栄養化学		
"	未定	准教授	"		
"	佐藤隆一郎	教授	食品生化学		
"	井上順	准教授	"		
"	内田浩二	教授	食糧化学		
"	戸塚護	准教授	"		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
応用生命化学	農学生命科学研究科	未定	教授	食品生物構造学	
	"	永田宏次	准教授	"	
	"	岡田晋治	特任准教授	機能性食品ゲノミクス	
	"	朝倉富子	特任教授	味覚サイエンス	
	"	未定	特任准教授	"	
	"	未定	教授	放射線植物生理学	
	"	田野井慶太郎	准教授	"	
	"	八村敏志	准教授	免疫制御	
	"	小林彰子	准教授	食の安全・安心・健康領域	
	"	未定	教授	動物細胞制御学	
	社会連携講座	高橋伸一郎	准教授	"	
		山内祥生	特任准教授	栄養・生命科学	
応用生命工学	農学生命科学研究科	清水謙多郎	教授	生物情報工学	
	"	未定	准教授	"	
	"	未定	教授	分子生命工学	
	"	足立博之	准教授	"	
	"	未定	教授	分子育種学	
	"	日高真誠	准教授	"	
	"	大西康夫	教授	醗酵学	
	"	勝山陽平	准教授	"	
	"	伏信進矢	教授	酵素学	
	"	未定	准教授	"	
	"	吉田 稔	教授	微生物学	
	"	有岡 学	准教授	"	
	"	堀内裕之	教授	細胞遺伝学	
	"	未定	准教授	"	
	"	石井正治	教授	応用微生物学	
	"	未定	准教授	"	
	"	尾仲宏康	特任教授	微生物潜在機能探索	
	"	丸山潤一	特任准教授	醸造微生物学	
	生物生産工学研究センター	野尻秀昭	教授	環境保全工学	
	"	岡田憲典	准教授	"	
"	西山 真	教授	細胞機能工学		
"	葛山智久	准教授	"		
"	柳澤修一	教授	植物機能工学		
"	未定	准教授	"		
"	古園さおり	特任准教授	微生物機能代謝工学		
分子細胞生物学研究所	前田達哉	准教授	栄養・ストレスシグナル伝達(膜蛋白質解析)		
森林科学	農学生命科学研究科	白石則彦	教授	森林経理学, 森林理水及び砂防工学	
	"	龍原 哲	准教授	森林経理学	
	"	丹下 健	教授	造林学	
	"	益守眞也	講師	"	
	"	古井戸宏通	准教授	林政学	
	"	熊谷朝臣	教授	森林理水及び砂防工学	
	"	仁多見俊夫	准教授	森林利用学	
	"	福田健二	教授	森林植物学	
	"	松下範久	准教授	"	
	"	富樫一巳	教授	森林動物学	
	"	久保田耕平	准教授	"	
	"	下村彰男	教授	森林風致計画学	
	"	鎌田直人	教授	森林圏生態学(森林昆虫生態学)	附属演習林
	"	後藤 晋	准教授	"(森林遺伝育種学)	"
	"	平尾聡秀	講師	"(多様性生物学)	"

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
森林科学	農学生命科学研究科	山田利博	教授	森林生物機能学 (樹病学)	附属演習林
	"	嶋田重裕	准教授	" (森林代謝化学)	"
	"	楠本 大	講師	" (樹病学)	"
	"	石橋整司	教授	森林圏生態社会学 (森林経理学)	"
	"	安村直樹	講師	" (林政学)	"
	"	蔵治光一郎	教授	森林流域管理学 (森林水文学・砂防工学)	"
	"	尾張敏章	准教授	" (森林経営学)	"
	"	廣嶋卓也	講師	" (森林経理学)	"
	"	浅野友子	講師	" (森林水文学・砂防工学)	"
	アジア生物資源環境研究センター	小島克己	教授	アジア生物環境学 (樹木生理学・熱帯造林学)	
	"	則定真利子	准教授	" ( )	
"	練春蘭	准教授	" (森林分子生態学)		
"	堀 繁	教授	" (地域資源計画学)		
水圏生物科学	農学生命科学研究科	山川 卓	准教授	水産資源学	
	"	良永知義	教授	魚病学	
	"	伊藤直樹	准教授	"	
	"	金子豊二	教授	水族生理学	
	"	大久保範聡	准教授	"	
	"	高橋一生	准教授	水圏生物環境学	
	"	潮 秀樹	教授	水産化学	
	"	山下倫明	教授	"	
	"	松永茂樹	教授	水圏天然物化学	
	"	岡田 茂	准教授	"	
	"	浅川修一	教授	水圏生物工学	
	"	岡本 仁	教授	"	
	"	木下滋晴	准教授	"	
	アジア生物資源環境研究センター	菊池 潔	准教授	水圏生物システム学	
	大気海洋研究所	岩滝光儀	准教授	沿岸海洋環境学	
	"	津田 敦	教授	プランクトン学	
	"	齊藤宏明	教授	"	
	"	平松一彦	准教授	水産資源解析学	
	"	河村知彦	教授	水産資源生物学	
	"	北川貴士	准教授	"	
	"	岩田容子	講師	"	
	"	伊藤進一	教授	水産資源環境学	
	"	小松幸生	准教授	"	
"	伊藤幸彦	准教授	"		
"	濱崎恒二	准教授	海洋微生物学		
"	佐藤克文	教授	行動生態計測学		
"	井上広滋	教授	海洋分子生理学		
"	小畑 元	准教授	海洋無機化学		
"	木村伸吾	教授	海洋生物圏環境学		
"	兵藤 晋	教授	海洋生物生理学		
農業・資源経済学	農学生命科学研究科	木南 章	教授	農業経営学・農村計画学	
	"	八木洋憲	准教授	"	
	"	齋藤勝宏	准教授	経済学・開発政策論	
	"	中嶋康博	教授	農業経済学・食料資源経済学	
	"	安藤光義	教授	農政学・比較農業政策学	
	"	松本武祝	教授	農業史・農学史	
	"	戸石七生	講師	"	
	"	櫻井武司	教授	農村開発学・国際農業発展論	
	"	万木孝雄	准教授	"	
東洋文化研究所	池本幸生	教授	開発経済学・汎アジア経済論		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
生物・環境工学	農学生命科学研究科	吉田修一郎	准教授	農地環境工学・農地管理工学	
	"	飯田俊彰	准教授	水利環境工学・水質水文学	
	"	西村 拓	教授	環境地水学・土壌物理学	
	"	濱本昌一郎	准教授	環境地水学・地盤環境工学	
	"	富士原和宏	教授	生物環境工学・バイオエンジニアリング	
	"	松田 怜	准教授	" ・施設園芸学	
	"	芋生憲司	教授	生物機械工学・エネルギー工学	
	"	海津 裕	准教授	" ・ロボット工学	
	"	牧野義雄	准教授	生物プロセス工学・ポストハーベスト工学	
	"	吉野邦彦	教授	生物環境情報工学・地域環境評価論	
	"	細井文樹	准教授	生物環境情報工学	
	"	三中信宏	教授	エコロジカル・セイフティ学・生態系計測学	
	"	平舘俊太郎	教授	" ・物質循環学	
	"	米村正一郎	教授	" ・大気環境学	
	"	八木一行	教授	" ・土壌環境学	
"	河齋実之	教授	生態調和工学		
"	米川智司	准教授	"		
"	安永円理子	准教授	"		
"	二瓶直登	准教授	放射線環境工学		
生物材料科学	農学生命科学研究科	信田 聡	教授	木材物理学	
	"	稲山正弘	教授	木質材料学	
	"	青木謙治	講師	"	
	"	磯貝 明	教授	製紙科学	
	"	齋藤継之	准教授	"	
	"	鮫島正浩	教授	森林化学	
	"	五十嵐圭日子	准教授	"	
	"	松本雄二	教授	木材化学	
	"	横山朝哉	准教授	"	
	"	岩田忠久	教授	高分子材料学	
"	竹村彰夫	教授	生物素材科学		
アジア生物資源環境研究センター	井上雅文	教授	環境材料設計学		
農学国際	農学生命科学研究科	八木信行	教授	国際水産開発学	受入れ予定なし
	"	杉浦勝明	教授	国際動物資源科学	
	"	松本安喜	准教授	"	
	"	宮沢佳恵	准教授	国際植物資源科学	
	"	齋藤幸恵	准教授	国際植物材料科学	
	"	露木 聡	准教授	国際森林環境学	
	"	中西啓仁	講師	新機能植物開発学	
	"	岡田謙介	教授	国際農業開発学	
	"	鈴木宣弘	教授	国際環境経済学	
	"	川島博之	准教授	"	
	"	溝口 勝	教授	国際情報農学	
	"	荒木徹也	准教授	"	
	"	遠藤秀紀	教授	国際動物資源科学	
	"	Marcy N.Wilder	教授	国際水産開発学	
	"	間 陽子	教授	国際動物資源科学	
	"	Matthias Wissuwa	准教授	国際植物資源科学	
	"	久保智史	准教授	国際森林環境学	
	"	佐藤 保	准教授	国際森林環境学	
"	銭 小平	准教授	国際環境経済学		
"	鍋谷浩志	教授	国際情報農学		

専攻	所属部局	教員氏名	職名	専門分野	備考
生 圏 シ ス テ ム 学	農学生命科学研究科	宮下 直	教授	生物多様性科学	受入れ予定なし 受入れ予定なし
	〃	瀧本 岳	准教授	〃	
	〃	吉田 薫	教授	保全生態学	
	〃	大黒俊哉	教授	緑地創成学	
	〃	橋本 禅	准教授	〃	
	〃	井出雄二	教授	森圏管理学	
	〃	佐野光彦	教授	水域保全学	
	〃	岡本 研	准教授	〃	
	〃	高田まゆら	准教授	耕地生圏生態学	
	〃	菊池 潔	准教授	水圏生物システム学	
	〃	鎌田直人	教授	森林圏生態学	
	〃	後藤 晋	准教授	〃	
	〃	平尾聡秀	講師	〃	
	〃	山田利博	教授	森林生物機能学	
	〃	鴨田重裕	准教授	〃	
	〃	楠本 大	講師	〃	
	〃	石橋整司	教授	森林圏生態社会学	
	〃	安村直樹	講師	〃	
	〃	蔵治光一郎	教授	森林流域管理学	
	〃	尾張敏章	准教授	〃	
〃	廣嶋卓也	講師	〃		
〃	浅野友子	講師	〃		
〃	深澤圭太	准教授	生圏資源環境学(生物多様性科学)		
〃	内山憲太郎	准教授	生圏資源環境学(森圏管理学)		
〃	齊藤 修	客員准教授	〃(緑地創成学)		
〃	松崎慎一郎	准教授	〃(水域保全学)		
〃	(総合文化研究科)	吉田丈人	准教授	保全生態学	
応 用 動 物 科 学	農学生命科学研究科	後藤康之	准教授	感染免疫学	
	〃	内藤邦彦	教授	生殖細胞科学	
	〃	杉浦幸二	准教授	生殖遺伝学	
	〃	高橋伸一郎	准教授	分子内分泌学	
	〃	田中 智	教授	幹細胞生物学	
	〃	武内ゆかり	教授	動物行動医学	
	〃	村田幸久	准教授	薬理・毒性学	
	〃	前多敬一郎	教授	獣医繁殖育種学	
	〃	松田二子	准教授	獣医繁殖内分泌学	
	〃	金井克晃	准教授	発生生物学	
	〃	山内啓太郎	准教授	体性幹細胞生理学・生殖生理学	
	〃	堀 正敏	准教授	薬理学	
	〃	桑原正貴	教授	環境生理学	
	〃	久和 茂	教授	実験動物学	
	〃	角田 茂	准教授	実験動物学・発生工学	
	〃	芳賀 猛	准教授	感染制御学	
	〃	関崎 勉	教授	食品病原微生物学	
〃	鈴木千七	准教授	畜産物機能学		

# 平成30（2018）年度東京大学大学院農学生命科学研究科 博士後期課程学生募集要項 補足説明

以下は、平成30(2018)年度東京大学大学院農学生命科学研究科博士後期課程学生募集要項を補足するものである。提出書類の作成及び受験にあたり必ず参照すること。

## 1. 出願資格

### (1) 医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業（見込み）する場合

大学における修業年限6年の医学、歯学、薬学又は獣医学を履修する課程を卒業（見込）の者（既に修士の学位又は専門職の学位を取得している者は除く。）は、出願資格（7）又は（8）による場合を除いて、出願資格（9）による出願となるので注意すること。

なお、出願資格（7）（8）又は（9）により出願を予定する者は、あらかじめ出願資格の認定または個別の入学資格審査を行うので、学生募集要項「出願資格」の注に記載されている指定の期日までに必ず本研究科事務部に申し出ること。

### (2) 社会人特別選抜による入学者は、入学後も在職していることが必要である。入学後に離職予定の者は、一般選抜に出願すること。（次の場合は、社会人特別選抜の対象とはしない：入学後に休職する場合、アルバイトや非常勤として雇用されている場合、フリーランスとして働く場合、転職予定で入学後の職が確定していない場合など。）

### (3) その他出願資格について、不明な点がある場合は事前に大学院学生担当まで問い合わせること。

## 2. 出願書類提出上の注意

### (1) 入学願書について

①一般選抜と社会人特別選抜は様式が異なるので、注意すること。

②入学願書については、裏面の履歴事項も含めて※以外のすべての欄を記入すること。未記入の欄がある場合は、出願書類不備として取り扱う。

③志望専門分野及び志望指導教員欄は、「教員および専門分野一覧」を参照のうえ必ず記入すること。また、異動等に伴い教員名等の記載事項に変更が生じる場合もある。変更が生じた場合は研究科ホームページで発表するので、出願前に研究科ホームページを確認すること。

④試験科目欄に選択する科目名を必ず記入すること。

⑤書類受信場所欄は、現住所以外への送付を希望する場合のみ記入すること。

### (2) 受験票について

①受験票の志望専攻・志望専門分野・専門科目欄は、必ず入学願書記載のものと一致させること。異なる専攻、分野、科目等を記入した場合及び未記入の場合は入学願書記載のものとする。

②写真は、入学願書に貼付したものと同一写真を使用すること。

### (3) 証明書について

①証明書等は、発行後3カ月以内のものを提出すること。

②編入学等をしている場合は、編入学前の成績等のわかる証明書も必ず提出すること。

③日本語または英語以外の言語による証明書は、原本に加え日本語訳を添付すること。

### (4) 外国人出願者への注意

①外国人は、入学願書の国籍欄に、国籍を記入すること。

②日本語の学力証明書は、特に決められた様式はないため証明機関で作成してもらうこと。

(5) 農業・資源経済学専攻出願者への注意

①農業・資源経済学専攻出願者は、次表に基づいて必要な外国語および専門科目を選択すること。

出願資格者			第1次試験		第2次試験	
			外国語	専門科目	論文	口述試験
一般 選 抜	A	本研究科農業・資源経済学専攻で2018年3月31日までに修士の学位を得る見込みの者または得た者	免除	免除	報告は専攻の論文審査会で実施	実施
	B	東京大学大学院で2018年3月31日までに修士学位または専門職学位を得る見込みの者または得た者のうちA以外の者	免除	2科目	論文2部提出	実施
	C	A B以外の出願資格者	英語 (TOEFL -ITP)	3科目	論文2部提出	実施
社会人特別選抜：募集要項の出願資格による			英語 (TOEFL -ITP)	3科目	研究成果と研究計画に基づき口述試験を実施	

注1：一般選抜の合否判定はA、B、Cを通じて同時に行う。

2：第1次試験の専門科目の解答時間は、科目数×1時間である。

②募集要項7.(2)【一般選抜】の提出書類「ケ」にかかわらず、一般選抜のうちB、Cの出願者が提出する修士論文は2部、要旨(2,000字以内)は7部とすること。なお、第2次試験においては、提出論文について10分程度の報告が求められる。報告用資料(レジュメ等)を15部持参すること。

③募集要項7(2)【社会人特別選抜】の提出書類「e.」について、提出部数は次のとおりとする。

本人の論文・報告書等 2部

本人の論文・報告書等の要旨(2,000字以内) 7部

なお、第2次試験においては、提出論文・報告書等について10分程度の報告が求められる。報告用資料(レジュメ等)を15部持参すること。

④第1次試験の面接は実施しない(募集要項4を参照)。

⑤不明な点は、農業・資源経済学専攻主任(募集要項「各専攻のお問い合わせ先」参照)または志望指導教員(第1志望)に問い合わせること。



### 3. 筆記試験

#### (1) 外国語（英語）試験について

本研究科では研究科共通の外国語試験として、TOEFL-ITP（レベル1）を採用している。TOEFL-ITPは、受験生が同一の試験場で同じ時間帯に受験するもので、Listening Comprehension：50問、Structure and Written Expression：40問、Reading Comprehension：50問に分かれており、約2時間、140問のマークシート方式の試験である。

なお、一部の専攻ではより専門性の高い英語能力をはかるために、専門科目の中に英語の問題を出題することがある。

#### (2) 筆記試験の時間、試験室等については、受験票発送時に通知する。

### 4. 面接および口述試験

#### (1) 応用生命化学および応用生命工学専攻においては、1次試験のうち面接は行わない。

#### (2) 口述試験の時間等については、受験票発送時に通知する。

### 5. 合否決定について

合否は、筆記試験、口述試験、提出書類等に基づき総合的判断のうえ決定される。ただし、著しく評価の低い項目があった場合は不合格となる場合がある。

### 6. その他

#### (1) 過去問題は、本研究科学生サービスセンターにて閲覧することができる。

#### (2) 出願にあたり不明な点は、予め専攻問合せ先または大学院学生担当まで問い合わせること。

◇ 各専攻のお問い合わせ先 ◇

平成29（2017）年4月

専攻分野に関するお問い合わせや博士後期課程の選抜の有無については、下記へご連絡ください。

専攻	担当	連絡先等
生産・環境生物学	(教授) 石川 幸男	電話： 03(5841)1851 E-mail： aeb-chief@ab.a.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.ab.a.u-tokyo.ac.jp/aeb/">http://www.ab.a.u-tokyo.ac.jp/aeb/</a>
応用生命化学	(教授) 藤原 徹	電話： 03(5841)5104 E-mail： atorufu@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
応用生命工学	(教授) 野尻 秀昭	電話： 03(5841)3067 E-mail： anojiri@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.bt.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
森林科学	(教授) 下村 彰男	電話： 03(5841)5208 E-mail： shimo@fr.a.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.fr.a.u-tokyo.ac.jp">http://www.fr.a.u-tokyo.ac.jp</a>
水圏生物科学	(教授) 佐藤 克文	電話： 04(7136)6220 E-mail： katsu@aori.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.fs.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.fs.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
農業・資源経済学	(教授) 松本 武祝	電話： 03(5841)5321 E-mail： amat@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.ec.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.ec.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
生物・環境工学	(教授) 西村 拓	電話： 03(5841)5350 E-mail： takun@soil.en.a.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/gs/index.html">http://www.en.a.u-tokyo.ac.jp/gs/index.html</a>
生物材料科学	(教授) 松本 雄二	電話： 03(5841)8879 E-mail： amatsumo@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/admissions/index.html">http://www.fp.a.u-tokyo.ac.jp/graduate/admissions/index.html</a>
農学国際	(教授) 岡田 謙介	電話： 03(5841)0770 E-mail： akokada@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.ga.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.ga.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
生圏システム学	(教授) 吉田 薫	電話： 03(5841)8086 E-mail： ayosida@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/">http://www.es.a.u-tokyo.ac.jp/</a>
応用動物科学	(教授) 田中 智	電話： 03(5841)5472 E-mail： asatoshi@mail.ecc.u-tokyo.ac.jp URL： <a href="http://www.ar.a.u-tokyo.ac.jp/pages/Japanese/J_top.html">http://www.ar.a.u-tokyo.ac.jp/pages/Japanese/J_top.html</a>

## 博士志願者及び合格者数

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数	志願者数	合格者数
生産・環境生物学	2 (1)	2 (1)	9 (1)	9 (1)	4 (1)	3 (1)	6 (2)	6 (2)	5 (1)	5 (1)
応用生命化学	25 (8)	23 (8)	16 (2)	14 (2)	11 (6)	9 (4)	18 (2)	17 (2)	9 (1)	8 (1)
応用生命工学	17 (3)	17 (3)	9 (2)	9 (2)	17 (1)	17 (1)	10 (2)	10 (2)	7 (2)	6 (2)
森林科学	10 (3)	9 (2)	8 (4)	6 (2)	8 (4)	6 (3)	7 (1)	7 (1)	4 (1)	4 (1)
水圏生物科学	16 (1)	15 (1)	9 (2)	8 (2)	13 (2)	13 (2)	12	11	10 (1)	10 (1)
農業・資源経済学	3 (2)	2 (2)	2	2	3	3	4	1	6 (1)	3 (1)
生物・環境工学	8 (2)	7 (2)	6 (1)	6 (1)	5 (3)	2 (2)	3 (1)	3 (1)	6 (2)	4 (2)
生物材料科学	10 (1)	9 (1)	9 (1)	9 (1)	10 (2)	8 (1)	13 (3)	13 (3)	7 (3)	7 (3)
農学国際	7 (1)	5 (1)	8	8	9 (2)	4 (1)	11	6	4 (4)	3 (3)
生圏システム学	3	3	5 (1)	5 (1)	4	3	3	0	4	4
応用動物科学	6 (1)	6 (1)	4 (1)	4 (1)	9 (1)	9 (1)	5	5	5	5
合 計	107 (23)	98 (22)	85 (15)	80 (13)	93 (22)	77 (16)	92 (11)	79 (11)	67 (16)	59 (15)

※ ( ) は外国人学生で内数

※外国人特別選抜の人数は除く。

※前期募集と後期募集を合わせた数。